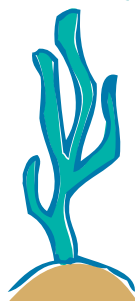
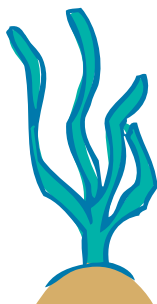
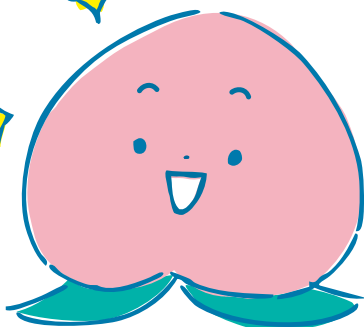
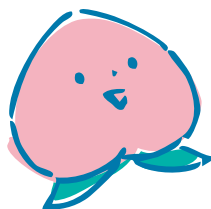


きれいな瀬戸内海のために！

きょう
今日からできる
うみ
海ごみゼロ
アクション

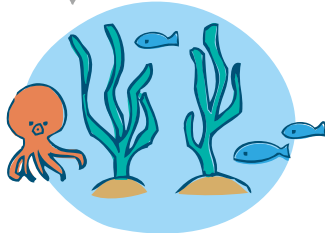


おか やま けん
岡山県

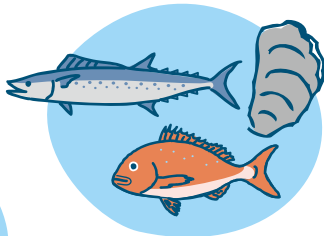
おか やま けん うみ たい さく すい しん きょう ぎ かい
岡山県海ごみ対策推進協議会

とっても豊かな 岡山の海!!

かい そう
海藻のアマモは、
うみ い もの
海の生き物の
かく が
隠れ家!



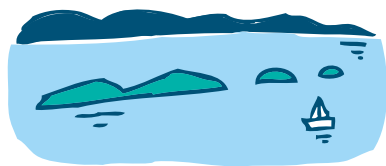
さかな
おいしいお魚が
たくさん!



うみ
きれいな海で
たの かい すい よく
楽しい海水浴!



うつく せ と ない かい
美しい瀬戸内海は
に ほん はつ こく りつ ごう えん
日本初の国立公園!



どうしてこんなことになるの?

うみ
「海ごみ」が
げんいん ひと
原因の1つ
なんだ!

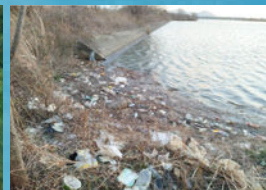


「海ごみ」ってなに?



おかやまけん さんだい か せん よし い がわ あさひがわ たかはし がわ
岡山県には、三大河川(吉井川・旭川・高梁川)な
おお かわ わたし く おお
ど多くの川があり、私たちの暮らしに大きな役割を
果たしながら瀬戸内海へと流れ込んでいます。しか
は せ と ない かい な が こ
し、山や街から出た生活ごみ、川の流れによって
うみ は こ ひょうりゅう かいがん ひょうちやく かい
海へと運ばれ、漂流したり、海岸に漂着したり、海底
しず うみ
に沈んだりして「海ごみ」となっています。これら
うみ せ と ない かい けいがん い もの きよき
の海ごみは、瀬戸内海の景観や生き物、漁業な
えいきょう あた
どにさまざまな影響を与えています。

うみ
海ごみは、海面や海中を漂っている
ひょうりゅう かいがんとう な が つ ひょう
「漂流ごみ」、海岸等に流れ着いた「漂
ちやく うみ そこ しず かい
着ごみ」、海の底に沈んだ「海底ごみ」
しずるい わ
の3種類に分けられるよ。



写真提供:みずしめ財団

写真提供:平井雅明氏

でも、ごみを減らさなければ、
海の未来は…

大変なこと になっちゃう!?

海の生態系にも
影響が!

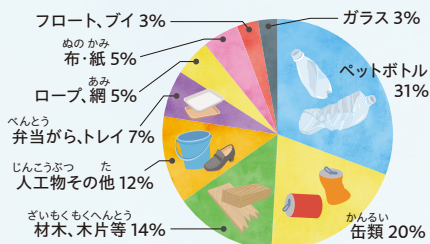
お魚が食べられなく
なっちゃうかも…

海で泳げなくなるかも!?

美しい海の景観が
損なわれる!

どんな種類のごみがあるの?

海ごみを調査している人に聞きました



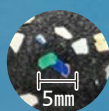
岡山県内で行われた
海辺等での清掃活動の調査結果 (令和5年度)

※下記報告書より人工物ごみを対象に回収量(容積m³)を抽出し組成比率を再計算した円グラフ
出典: (公財) 海と環境美化・油濁対策機構「令和5年度環境・生態系維持・保全活動等調査事業
海浜等清掃活動実施状況調査報告書(海の羽根基金事業)」

グラフにあるように、海ごみの中では、ペットボトルや弁当がら、トレイ、空き缶などの使い捨て製品が多くを占めています。これらは便利ですが、きちんと捨てられずに海などに流出すると、回収は難しく、マイクロプラスチックになるなどして、海の生態系や景観に悪影響を与えます。そのため、生活から出るごみを減らすことや、落ちているごみを拾うことが大切になります。

こうざいみずしまいきんぎょうせいせいざいだん
(公財)水島地域環境再生財団(みずしま財団)
理事兼研究員 塩飽敏史さん

コラム



マイクロ
プラスチック

写真提供:
鈴木裕典 准教授(岐阜大学)

マイクロプラスチックとは、5mm以下の小さなプラスチックのことを言います。例えば、ペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみが、紫外線や波の力で壊れてマイクロプラスチックになります。この小さなプラスチックは、回収が困難な上、魚が誤って食べてしまうことがあり、その結果、食物連鎖を通じて人間も摂取する可能性が指摘されています。

くわ
詳しくはこちら



一体どうすればいいの!? 次のページを見てみよう!



海を汚さないために、

私たちにできること!

できることに
チェック☑
してみよう!

☐ ムダな使い捨て、
やめてみない?



☐ つめかえ商品や
ばら売り商品を
選んでムダを
なくそう!



☐ レジ袋はお断り!
マイバッグやマイボトル
の持参でカッコよく!

☐ 地域の清掃活動に
参加!



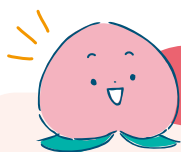
かいがん
海岸だけでなく、
まちなか
街中や河川敷などの
たいせつ
ひろ
ごみ拾いも大切だよ!



□ ペットボトルや空き缶など
正しく分別して資源回収へ！



□ ポイ捨てはしない。
ごみはきちんと持ち帰ろう！



まちではこんな工夫もされているよ！

1 オイルフェンス

川や水路にネットを
張って、ごみが街か
ら海へ流れ出ない
ようにしているよ。



2 新機能リサイクルボックス

自動販売機横に、空容
器以外を入れにくい投
入口が下向きのリサイ
クルボックスの設置が
広がっているよ。



3 プロギングステーション

ジョギングしながら
集めたごみを捨て
られるように、回収
ステーションを設置
しているよ。



4 リユース食器の使用

ごみの発生量が減るよ
うに、リユース食器(洗
えば何回も使える食器)
を積極的に活用してい
るイベントもあるよ。



写真提供：特定非営利活動法人
タブラサ

ワーク

みんななら何ができそうかな？ 書いてみよう！

.....

.....

みんなも参加できる 岡山の活動を 紹介!

他にもいろんな活動があるよ!
チェックして、家族や友達と
参加しよう!



グリーンパートナーおかやま (おかやま海ごみゼロ大作戦中高生実行委員会)

グリーンパートナーおかやまのサポートにより2024年4月に結成された「おかやま海ごみゼロ大作戦中高生実行委員会」では、中学生・高校生メンバーが中心になり、海ごみ問題について話し合うワークショップや河川での清掃活動などを企画・実施しています。



釣り人みんなで、ごみ拾い

釣り場や、釣り場周辺のごみ拾いははじめ、岡山市内の河川河口部や用水路でごみが溜まっているホットスポットでのごみ拾いをしています。講演、出前講座、フォーラム等での啓発活動や行政への提言も行っています。
(2024年ごみ回収量は約4t)



里山里海交流館 しんぴお

ホテルが多く生息する美しい川にするために、長年にわたり備中川の河川敷でごみ拾いを行っています。また、瀬戸内海に繋がる旭川の川の起点であることから、カヤックなどを使った浮遊ごみの回収活動のほか、楽しく体験できる環境学習も行っています。



岡山商工会議所

旭川をシンボルとしてより美しい川に育てるという目的で1994年から毎年旭川一斉清掃を行っています。今年で31年目を迎える本活動は、地域の企業を中心に町内会、老人会、個人まで一緒になって清掃活動に取り組んでいます。



ワーク!

参加してみたい活動や団体について調べて、分かったことを書いてみよう!

.....

.....

岡山で海ごみに挑む仲間たち

一般社団法人

みんなでびぜん

私たちは、道路がないため日頃立ち入ることができない海岸に、船で直接乗り上げ、100名前後のボランティアの方々と瀬戸内海各地の漂着ごみの清掃活動を行っています。

地域の方や企業・団体、学校、自治体などみなさんと連携して、海洋ごみの回収をしていきたいです。

事務局長 杉本宗一さん



牛窓町漁業協同組合

私たちは、以前より海底ごみの回収に取り組んでいますが、ごみは減っていません。漁業をしながら海底ごみを回収するのは、とても手間がかかりますが、漁場を守るために頑張っています。

この海を後世に残すため、漁業の維持継続ができる取り組みを今後も行います。

組合長 柴田悟さん



山陽学園中学校・高等学校 地歴部

地歴部ではごみ問題を自分事として考えてもらうために、ごみ調査アプリを作成し、スマホを使った市民によるごみ調査に取り組んでいます。市民の力と調査データの「見える化」により、ごみ問題の解決に繋げています。

海ごみ問題の解決は「1人の100歩ではなく、100人の1歩」が大切です。

地歴部顧問 井上貴司さん



ふくなんプロギング部

(岡山市立岡南公民館)

私たちは、福南中学校区内の道路上に落ちているごみを、みんなでしゃべりしながら楽しく拾っています。市民の方々に活動を見て、知ってもらうことで皆さんの行動が変わることを期待しています。

参加者と共に「走って健康」、「拾って環境美化」はもちろんのこと、社会貢献活動を通して、自分の人生を前向きに歩んでいきたいです。



公民館主事 土居義明さん

岡山県のいろいろな取組

おかやまゴミ退治大作戦



岡山県海ごみ対策推進協議会(県、市町村、経済団体が構成)では、河川や用水路等を通じて、瀬戸内海へ流入する生活ごみ等を削減することを目的に、海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」を展開しています。県内各地で開催される活動について、県ホームページで順次紹介していますので、ぜひご参加ください。

晴れの国クリーンアップおかやま



ウェブサイト「晴れの国クリーンアップおかやま」では、ごみ拾いSNSピリカを活用して岡山県内におけるごみ拾いの実施状況と結果を見える化しています! ランキング機能を追加して、ますます分かりやすくなりました。拾ったごみの写真やごみ拾い活動の様子を撮影し、ピリカに投稿することで、一人ひとりの活動がつながり、「ありがとう」の輪が広がっています。ごみ拾いをしたらピリカにぜひ投稿を!

河川ごみ等運搬・処分促進事業



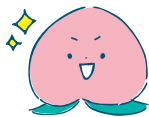
河川等で一定規模以上の清掃ボランティア活動が実施される場合、回収したごみの「運搬」「処分」に係る費用について全額を県が負担。活動の1か月前までに清掃場所の管理者又は県循環型社会推進課までご連絡ください。

他にも岡山県のホームページには情報がたくさん!



海ごみに関する動画や資料、市町村の連絡先など。ぜひチェックしてね!

清掃活動の実施に当たっては、回収したごみの処理等について、事前に各市町村の窓口にご相談ください。なお、市町村によっては、ごみ袋の支給や清掃用具の貸与等の支援を受けられる場合があります。



一人ひとりの行動で、未来の海が変わる!
みんなで一緒に、海ごみゼロを目指そう!

お問い合わせ

岡山県環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
Tel: 086-226-7306 Fax: 086-224-2271